

# アカシア便り

第 9 号

平成20年5月1日

安達 嘉也

安達真希子 作成

## 大連生活2年目をむかえて

早いもので、私たちが大連に来て1年がたちました。中国語も最初は「你好」「谢谢」「再见」しか話せなかった私たちも、何とか日常会話くらいは分かるようになり、大連の街中で迷うこともなくなりました。

日本人学校の方では、今年は6年生担任をさせていただくことになりました。そしてもうひとつ嬉しいことがありました。大連日本人学校に、なんと同じ鳥取県の先生が赴任して来られたのです。この中国大連で同郷の先生と一緒に働けることをとても心強く思っています。

今年もこの「アカシア便り」で大連の様子、日本人学校の取り組み、そして今年は日本と大連のつながりについても紹介していこうと考えております。楽しんで読んでいただければ幸いです。

### 「大連マラソン」に参加しました！

4月20日（日）に、「ANA 杯 大連国際マラソン大会」が開催されました。このマラソン大会は毎年大連で開催されており、マラソンの部、駅伝の部、車椅子の部があります。昨年はオリンピックのメダリストの有森裕子選手も走られました。今年の大会には中国、日本、韓国、アメリカ・・・など37カ国から、約17000人が参加し、出発地点のアジアで一番大きい広場とされている「星海広場」はたくさんの人でにぎわいました。

私たちは一番短い5kmのマラソンに挑戦しました。沿道では、中国の人々が「加油！」（がんばれ!）と応援してくれ、楽しく走ることができました。



### ～今月の中国語～

第5回目は、数字です。買い物をするときには必ず必要です。

「一・二・三・四・五・六・七・八・九・十」

「十一・十二・十三・十四・十五・十六・十七・十八・十九」

100 → 「一百」 1000 → 「一千」 10000 → 「一万」